

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ああるレインボーDuo谷塚駅前教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日		令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 27人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日		令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	午前グループで身辺自立や集団生活に慣れて出来ることを増やし、地域の幼稚園などに通っている児童は午後のグループで、出来ること・好きなことを増やし自信をもって集団で過ごせるように支援を行っている。	「自分でできた」「難しいけど挑戦した」などの気持ちを大切に、できたところを褒めて自信を持っているなことに取り組み、できるように支援している。	「できた！」の達成感を重ねて、「やってみよう」という挑戦する気持ちに繋げていく。 失敗も経験しながら、上手に出来なくても大丈夫！やってみることがすごい！と伝えて自己肯定感をあげていく。
2	併用している保育園・幼稚園と連携を図りながら支援を行っている。	幼稚園や保育園と連携しながら支援を行なうことで、包括的に支援を行うことができる。 可能な限り定期的に園と共有会議を行って、支援の方向性を揃えられるように取り組んでいる。	幼稚園・保育園の先生と行き来して、それぞれの場所での様子を見て情報共有できるように、児童が併用している園との関係性をより強化していきたい。
3	午前グループと午後グループがあり、主の集団生活の場所や時間に合わせて利用の仕方もステップアップできる。	午前グループから利用をスタートして、幼稚園や保育園と併用になった時に、午後グループの案内を行ない、週5日幼稚園・保育園に行けるようになった時は午後グループの利用に移行できるようにしている。	初めての母子分離の方も、安心して集団生活に慣れていけるようにスモールステップでスタートが出来ること。 小集団で様々な経験を重ねて「楽しい」「出来る」を多く感じて自信をもって取り組めるように支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンに使えるような個室がない	活動スペースに個室になる場所はなく、オモチャや活動用品があり収納されている場所が別室になっている。	活動スペース内でみんなから少し離れてクールダウンできる子は、別室には行かずに切替えができるように支援している。 別室を片づけ、棚にカーテンをつけるなどして、必要に応じて一時的に場所を変えて気持ちの切り替えができるように工夫している。
2	保護者会などの開催ができていない	毎回の活動報告や毎月のお便りでご利用の様子を伝えたり、希望があった時や面談時に見学できるようにしているが保護者会として交流できるような会は開催をしていない。	午前と午後にグループ時間があり、平日に開催するのが難しいため、祝日などにイベントとしてみなさんが交流できる会を検討していく。 午後グループはお迎えの時に振り返りをして、保護者様同士でお話もできる機会になっている。
3	活動スペースにある手洗い場が、お湯が出ない	活動スペースの水道にはお湯が出るように工事をするのは難しかった。	絵の具遊びの後など、手洗いでお湯が必要な時は給湯器のお湯を用意して手洗いでできるように工夫している。